

令和5年度「市内の景観や都市デザインに関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q13「交通利便性や生活支援施設等が充実していることのほかに、あなたが「住みたい・住み続けたい・働きたい」と思う街はどのような街ですか」の質問に対して、「ア 緑や海・川などの自然がある」、「ウ 街の歴史や文化が感じられる場所がある」、「エ 街並みが美しい」の3つが回答の上位となりました。本市の都市デザインを推進する上で重要視してきたことが、市民の方々のニーズにも合致しているかどうかの効果測定に活用します。

今後も、「住みたい・住み続けたい・働きたい」と思う街となるよう、都市デザインの推進に務めたいと思います。

2 アンケートを実施した感想

Q10「歴史的建造物などのイルミネーションを時間限定で音楽にあわせて一体的に演出している夜景の演出についてどう思いますか。」の回答では、現地で実施したアンケート結果とは異なり、環境への配慮など、来場者に限らない視点で当イベントを評価していただきましたので、それらを踏まえて、より「魅力的」と感じられるような演出とし、夜の賑わいづくりに繋げていきたいと考えています。

また、Q14「現在の横浜がより一層、「住みたい、働きたい」と思える街になるためには、どのような場所を魅力的にしていけることが重要だと思いますか。」という設問に対し、「ウ 居住地に近い身近なエリア」が42.3%との回答が最も多かったことから、「ア 都心臨海部（JR東神奈川駅～石川町駅周辺）」（19.4%）よりも、居住地に近い身近なまちの魅力づくりのほうに関心が高いことが分かりました。

3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

この度は、アンケートに御協力いただき誠にありがとうございました。自由記入欄も含め、貴重なご意見を多数頂き、大変参考になりました。今後も、市民の皆様が魅力的に感じることができる景観形成の推進により一層力を入れていきます。

引き続きX（旧 Twitter）などを活用し、都市デザイン室が実施している事業の広報を行っていきますので、ぜひ下記都市デザイン室のX（旧 Twitter）アカウントのフォローをお願いします。

担当：都市整備局都市デザイン室、景観調整課
【都市デザイン室 X（旧 Twitter）：@yokohama_ud】

令和5年度は、11月27日から1月4日までみなとみらいから山下公園の都心臨海部で、大さん橋国際客船ターミナルをメインビューポイントとし、街ぐるみでのイルミネーションイベント「ヨルノヨ」を開催いたします。毎年少しずつ、ライトアップ施設を増やし、新たな取り組みも予定しています。

よりダイナミックな演出を検討しておりますので、ぜひ、現地をご覧ください。

担当：にぎわいスポーツ文化局創造都市推進課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。